

第3章 緑のまちづくりへの課題



本市を取り巻く社会情勢の動向が大きく転換し、新たな発想による未来への資産を、市民とともに地域社会に備えていく時を迎えています。地域が主体の、時代と共に歩むまちづくりが求められています。緑のまちづくりに求められる視点を示し、緑の形成における課題を整理します。

千曲市の緑のまちづくりに求められる視点

緑のまちづくりは、超少子高齢化の進展や経済環境の変化、地域主権への動きなどの社会情勢の変化を踏まえながら的確に対応していくことが求められています。

本市のこれからの緑のまちづくりに際して、次のような背景を捉えながら緑を形成していく必要があります。

現代社会の問題点を意識し、豊かな千曲市に向かうこれからの価値観の共有へ

人・地域との繋がり的重要性

地域の魅力を再発見・再構築することの重要性

健康・長寿社会の重要性

持続可能な地域社会の重要性

心の豊かさの重要性

安全・安心感の重要性

日常の都市生活・生産活動に際して有意義な価値観を地域で認識・共有しながら、地域の特性を感じることができる、市の質の高い緑をどのように引き継ぎ、増やしていけるのかという視点を持つことが大切となります。

求められている主な視点は次のように考えられます。

視点① 千曲市の魅力を高めるようデザインされた緑

- 景観の向上と賑わいや落ち着きを創出する緑
- 歴史や文化資産と一体となった緑
- 誰もが心地よく感じるオープンスペース
- 豊かな暮らしを演出する緑
- 将来の世代につながる緑

視点② 災害に備え、安全で安心な暮らしを支える緑

- 土砂崩れなどの自然災害の発生防止に寄与する山林の緑
- 水源涵養に寄与する樹林の緑
- 地域防災力の向上に寄与する緑
- 安全で安心して利用できるオープンスペース
- 自然災害の記憶と経験の継承、防災意識の向上につながる緑

視点③ 環境と人にやさしい緑

- 絆を支える緑
- 二酸化炭素吸収源としての緑
- 土を守る緑
- ヒートアイランド現象を緩和する緑

視点④ 協働と参画のさらなる推進と緑を支える人づくり

- 人と人とのつながりを築く緑
- 緑を社会全体で支える仕組み
- 緑を楽しみ、学び、伝える仕組み

緑のまちづくりに必要な緑の要素

緑のまちづくりの視点において、特徴的な緑の要素を活かすことも大切となります。下記のような特徴的な要素を意識的に活かすことは、個性ある景観形成や魅力的なまちのイメージの形成につながります。

まちづくりのための緑の要素

① 街路樹

まちの緑のつながりをつくる街路樹は、街路の心地よさや風格、まちのイメージやシンボルとしての効果を持ち、人の生活に近い身近な緑として潤いのある景観を生み出します。景観形成以外にも、街路樹は以下のような大切な役割を持っています。

- 緑陰[※])により快適な歩行空間が形成されます。
- 塵埃^{じんあい}を防止し、自動車や産業活動による大気汚染などを軽減します。
- 交通騒音を防止します。
- 日陰を与え、葉の蒸散作用で大気を冷やします。
- 植物(形や色や芳香)から安らぎ・豊かさなどを受け、緑の四季の変化を感じられます。



街路樹の緑陰例



三滝川堤防道路桜堤

② 住宅の植栽

住宅の植栽は、住んでいる人の潤いだけでなく、近隣の住民にとっても潤いをもたらす大切な緑です。住宅の緑がつながり、豊かな住宅地を形成することで緑を楽しむ人々が暮らす住環境の形成が望めます。



住宅・駐車場の緑化例



住宅地の緑化例

③ 商業地・温泉観光地の緑

商業地の街路や郊外型の商業施設、温泉観光地などは人をもてなす空間となっており、地域の人々や来訪者が集まり、憩える商業環境形成のためにも緑の質や量の充実が求められる場です。

特に、郊外型の店舗では駐車場が多いため、街路景観を整えるためにも充実した緑が求められます。

④ 工業地の緑

工業地は、大規模な面積と建物をもっているため、植栽が行われているところが多くなっています。

今後も地域の景観的シンボルとなるような緑の形成が求められています。

⑤ 歴史・文化を守る緑

本市には多くの社寺林、姨捨の棚田や屋代田んぼ、昔の宿場町や門前町、街道筋の緑があります。これらは長い時間、人との関わりを持って形成され、歴史的風土を培ってきました。

これらの緑を保全し、またこれからの豊かな緑の将来を考えて、植栽を行う場合には、長い時間を考え、未来につながる魅力ある緑を形成することが望まれます。



歴史を感じる武水別神社の社叢

⑥ 施設緑地

(1) 公園・緑地

都市公園等の緑は、散策・遊び・スポーツ・交流・自然とのふれあいなどを楽しむ市民のレクリエーションの場と、子育てや高齢者の憩いの場としても大きな役割を持ち、生活に潤いをもたらします。

また、地震・洪水や土砂崩れ、火災といった災害時において、公園や緑地の存在は地域住民にとって安全と安心をもたらします。

そして、日ごろの訓練などによるコミュニケーションにより、地域の人と人をつなげる役割も果たします。

(2) 公共・公益施設の緑

学校や市役所、文化会館等の公共施設は敷地面積も広く、多くの市民が利用する場となっており、豊かな緑が求められる場です。

公共施設の緑は、緑化のモデル的な役割を果たしています。

千曲市を特徴づける緑

① ランドマーク[※]としての緑の形成

市街地を一望できる優れた眺望点が多い本市において、社寺林、工業地の植栽、公園・緑地や公共施設のまとまった植栽は、地区を特徴づけるランドマークとしての機能を果たします。



地区のランドマークとしての新田伊勢社の社叢^{しゅうそう}

② シンボルとしての緑の形成

地域の人々から愛着を持たれている巨木や緑は、長い年月にわたって市民のシンボルとなります。また、質の高い緑によって場所のシンボル性を高めることが、緑を豊かにすることにつながります。

例えば、屋代駅前の街路では大型樹種を植栽し、まちのシンボルとなる並木道の形成を図っています。

＜シンボルとなる緑、シンボル性を高める緑の例＞



街路樹のある日本大通りは横浜のシンボルとなっている



パリ市のセーヌ川の緑は、緑陰を人々に与えセーヌ川のシンボル性を強調している



松本市のあがたの森公園は、ヒマラヤスギの成長により、松本のシンボリック的存在となっている

③ 山際の緑

山際には、社叢^{しやそう}や寺叢^{じそう}といった特徴的な緑が多く、また山と里を分ける先人たちの様々な知恵が詰められた緑や、地形的特徴となっている崎地形[※]の緑があります。

山際においては、景観的に人の目を楽しませる桜などの植樹を工夫することで印象づけられる緑となります。



大雲寺の山際の寺叢^{しそう}

出典：千曲市の残したい自然

④ 山アテ[※]の緑

東西方向に延びる街路は山に向かっており、街路の先に山が見える風景は景観要素として重要なものです。

山と街路樹との調和した景観を育成することで特徴ある緑の形成が期待できます。

⑤ まちかどの緑

宿場町周辺などのまちかどに、祠^{ほくら}がありケヤキなどの大木が見られる場所が多く見受けられます。

このようなまちかどに見られる角地の緑は、景観的にアイストップ[※]としても地域の魅力あるシンボルにもなり、景観資源[※]としても重要です。



八幡の角地のケヤキ



埴生中学校南交差点角地の
ポケットパークの緑

緑のまちづくりのためのエリア分類

本計画では、緑の空間構成や特性を活かした計画とするため、緑の構成が類似したエリアに分類し、それぞれの特性に応じた課題や方針を示します。

本市は、中央部に広大な千曲川が縦断し、川沿いの低地には市街地や農地が広がっています。そこから扇状地や緩斜面に農地や集落が広がり、東西に縦断する山地の里山や樹林につながっています。

本計画では、山林、農地、市街地、水辺という4つのエリアに分類し、それぞれの特徴に応じた緑の方針を示していくこととします。

4つのエリアについては、千曲市都市計画マスタープランの土地利用方針図の環境保全地域、農業集落共生地域、市街地地域にも対応した3つのエリア「里山・山間エリア」、「田園エリア」「まちのエリア」および千曲市の骨格を成す千曲川の河川敷およびその他河川・水路を「水辺のエリア」として区分します。

これらの4つのエリアが近接し、山の緑、農の緑、水辺の緑、そしてまちの緑が連続的につながっていることで、景観的にも「千曲市らしさ」が感じられます。それぞれのエリアの緑の魅力の向上とつながりを重視することにより、さらに魅力的な緑の形成に向かう施策を展開します。

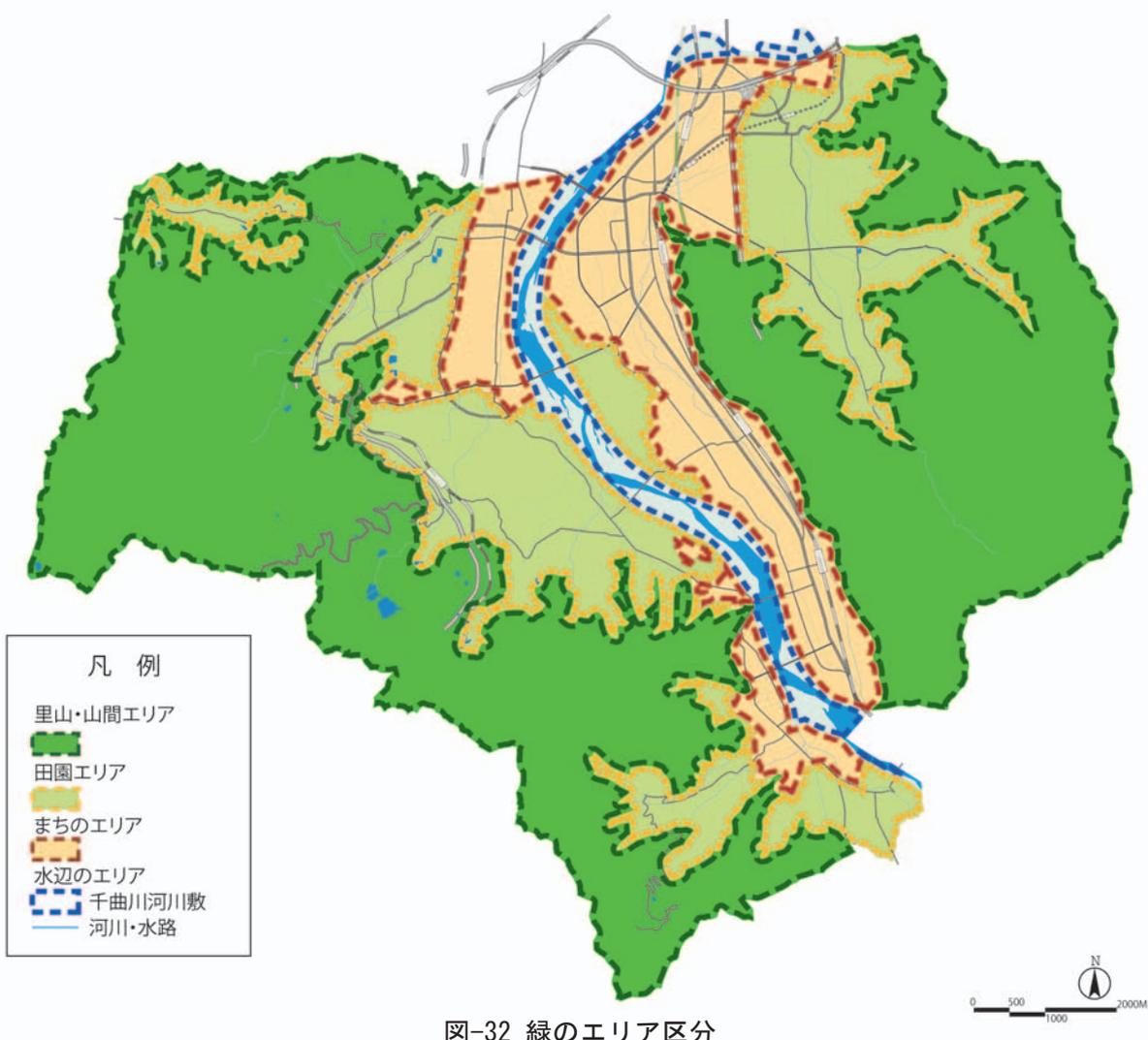


図-32 緑のエリア区分

エリア別の緑の特徴と機能

各エリアが備えるべき緑の機能として①環境保全・改善機能 ②自然災害の防止・防災機能 ③レクリエーション・心の快適さの機能 ④景観形成機能 ⑤生物多様性の保全機能に大別し、エリアの特徴に応じた期待される緑の機能を整理します。

里山・山間エリアに必要な緑の機能

里山・山間エリアは、主に二次林や植林で構成されている、人と森林との関係が深いエリアです。冠着山の周辺は、県立自然公園の指定もあります。ふもとには多くの社寺林があり、大木も見られます。東西に縦断する山地は、本市の緑の骨格ともなっています。

このような特徴を踏まえて里山・山間エリアに必要な緑の機能を示します。

① 環境保全・改善機能に関して

- 二酸化炭素の吸収源として、また大気の浄化作用を維持するための森林
- 河川や湧水に対する水源涵養機能かんように寄与する森林
- 豊かな森林を育む土壌
- 里山管理のための支援（林道整備、担い手など）
- 里山を自立的に維持管理できる担い手の育成

② 自然災害の防止・防災機能に関して

- 土砂崩れ等に対する災害に強い多様性のある根張りのしっかりとした森林と健全な土壌の保全機能
- 地滑り地形の多い山間部における自然災害の防止

③ レクリエーション・心の快適さの機能に関して

- 里山の市民のレクリエーションや観光に関する機能
- 大池周辺・市民の森の緑のレクリエーション機能
- 里山の大切さと楽しさを理解できるような、子どもたちの森林学習、植樹体験など緑についての体験の場

④ 景観形成機能に関して

- 市街地からの景観的背景として、森林の豊かな緑
- 季節の色の移ろいを楽しめる景観としての森林
- 古木・巨樹などの景観機能
- ランドマーク的な山の自然としての景観

⑤ 生物多様性の保全機能に関して

- 豊かな生態系を維持する森林としての機能

田園エリアに必要な緑の機能

姨捨の棚田や屋代たんぼなど、古くから水田として利用されてきた、日本の原風景とも言える歴史ある農地や、本市の市木・市花であるあんずの樹園地など特色ある農地が見られます。

その他にもまとまった農地景観が残っており、緑の豊かさを感じさせるエリアとなっています。このような特徴を踏まえた田園エリアに必要な緑の機能を示します。

1 農地の環境保全に関して

- 食糧の供給機能
- 人と自然とが関わり合う場としての機能

2 防災機能に関して

- 避難所等の集落の防災機能
- 水田の貯水性を活かした大雨時の一時的な洪水抑制機能

3 レクリエーション・心の快適さの機能に関して

- コミュニティ形成機能
- 農村文化や田園景観による心のふるさとの育成機能
- 農業体験等を通じた子どもたちの緑に関する学習機能
- 水田やあんず樹園地などの農地、および農業集落をそぞろ歩きできるような心の快適さの機能

4 景観形成機能に関して

- 棚田から見下ろす眺望景観
- 歴史ある屋代たんぼの豊かな田園風景
- あんず樹園地と農村景観の調和といった、農地と集落とが調和する美しい景観
- 社寺林等歴史ある緑の次世代への継承

5 生物多様性の保全機能に関して

- 多様な生物の生息環境としての農地
- 畦などの植生の多様性が維持できる場

まちのエリアに必要な緑の機能

まちのエリアには都市的な性格の色濃い中心市街地、商業地、工業地、住宅地、温泉観光地が形成されているほか、街道や宿場町の歴史を感じられる場所も残っています。

まちなかには風格ある社寺林が多く立地し、特徴ある公園や緑地も多く楽しめる緑もあります。このような特徴を踏まえたまちのエリアに必要な緑の機能を示します。

1 まちの環境保全・改善機能に関して

- 緑による良好な住環境の創出
- 緑のカーテン[※]・壁面緑化・屋上緑化・駐車場緑化等の人による緑環境の創出

2 防災機能に関して

- オープンスペースや緑の創出による防災機能の向上
- 災害時の避難地、拠点となる防災面での機能

3 レクリエーション・心の快適さの機能に関して

- 身近なオープンスペースと憩いの場
- 公園における緑の心地よい緑陰としての機能
- 公園における芝生等のオープンスペースとしての機能
- 身近な植栽の剪定など緑との関わりを楽しむ文化を創出する機能



上山田南部公園

4 景観形成機能に関して

- 市のシンボルとなるようなまとまった緑の演出
- 鉄道駅や高速道インター等、市の玄関口としての緑
- 工業・商業等の土地利用に応じた豊かな緑の創出
- 公共施設における沿道の樹木や敷地内の植栽による都市空間の高質化
- 商店街の花・緑や街路樹の高質化、目抜き通りとして緑による都市空間の高質化
- 武水別神社等のランドマークとなる緑
- 温泉観光地としてのもてなしの緑
- 工業地の緑化推進と緑の景観のシンボル性
- 街路樹による都市空間の高質化
- 大規模駐車場の緑化による景観向上
- 壁面や屋根等の緑化による景観向上
- 巨木・古木による景観保全



あんずホール横の彩りある緑

5 生物多様性の保全機能に関して

- まとまりのある緑地の生物生息環境としての機能
- 緑のネットワーク化による生物多様性を保全する機能

水辺のエリアに必要な緑の機能

千曲川には、オープンスペースとして利用されている広い公園や緑地が整備されており、レクリエーションや親水空間などとして重要な役割を果たしています。

景観的にもふるさとの風景となり、市民の共通の誇りと捉えられています。

このような特徴を踏まえて水辺のエリアに必要な緑の機能を示します。

1 水辺の環境保全・改善機能に関して

- 水質浄化に対する緑の機能

2 防災機能に関して

- オープンスペースや緑の創出による防災機能
- 水害に対する防災力の向上

3 レクリエーション・心の快適さの機能に関して

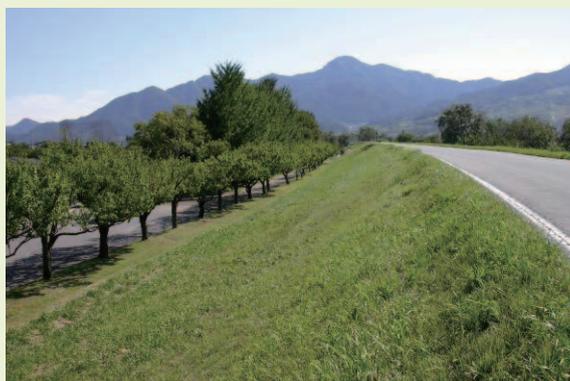
- 親水空間による水辺、川面を楽しめる場としての機能
- 親水公園、緑地による都市生活の快適性向上機能
- 千曲川河川敷の広大なオープンスペースとしてのレクリエーション機能
- 河川敷におけるグラウンド等の緑地での良質な緑陰による憩いの場の形成機能
- 水辺を学習できる場の提供

4 景観形成機能に関して

- 水辺を飾る緑の創出機能
- 水辺空間が持つ良好な景観

5 生物多様性の保全機能に関して

- ホタルや貴重な生物の生息環境としての機能
- ビオトープ[※]としての河川・水路の機能



千曲川の堤防と緑

緑のつながりに関する必要な緑の機能

緑のつながりに関係する必要な緑の機能を示します。

1 緑のつながりとしての環境保全・改善機能に関して

- 街路樹の拡充による空気の浄化機能
- 緑と水辺のつながりによる風の道の形成

2 防災機能に関して

- 街路樹設置による延焼防止機能

3 レクリエーション・心の快適さの機能に関して

- 街路樹による心地よい緑陰形成と、街路の美化機能
- 河川空間のレクリエーション機能

4 景観形成機能に関して

- 地域をつなげ一体感をもたせる機能
- 水辺を飾る桜堤等による緑の形成機能
- 道路を飾る緑のつながりの形成機能

5 生物多様性の保全機能に関して

- 水と緑のネットワークの形成により生物の移動を可能にし、生態系をつなげる機能

協働と参画の実現のために必要な要素

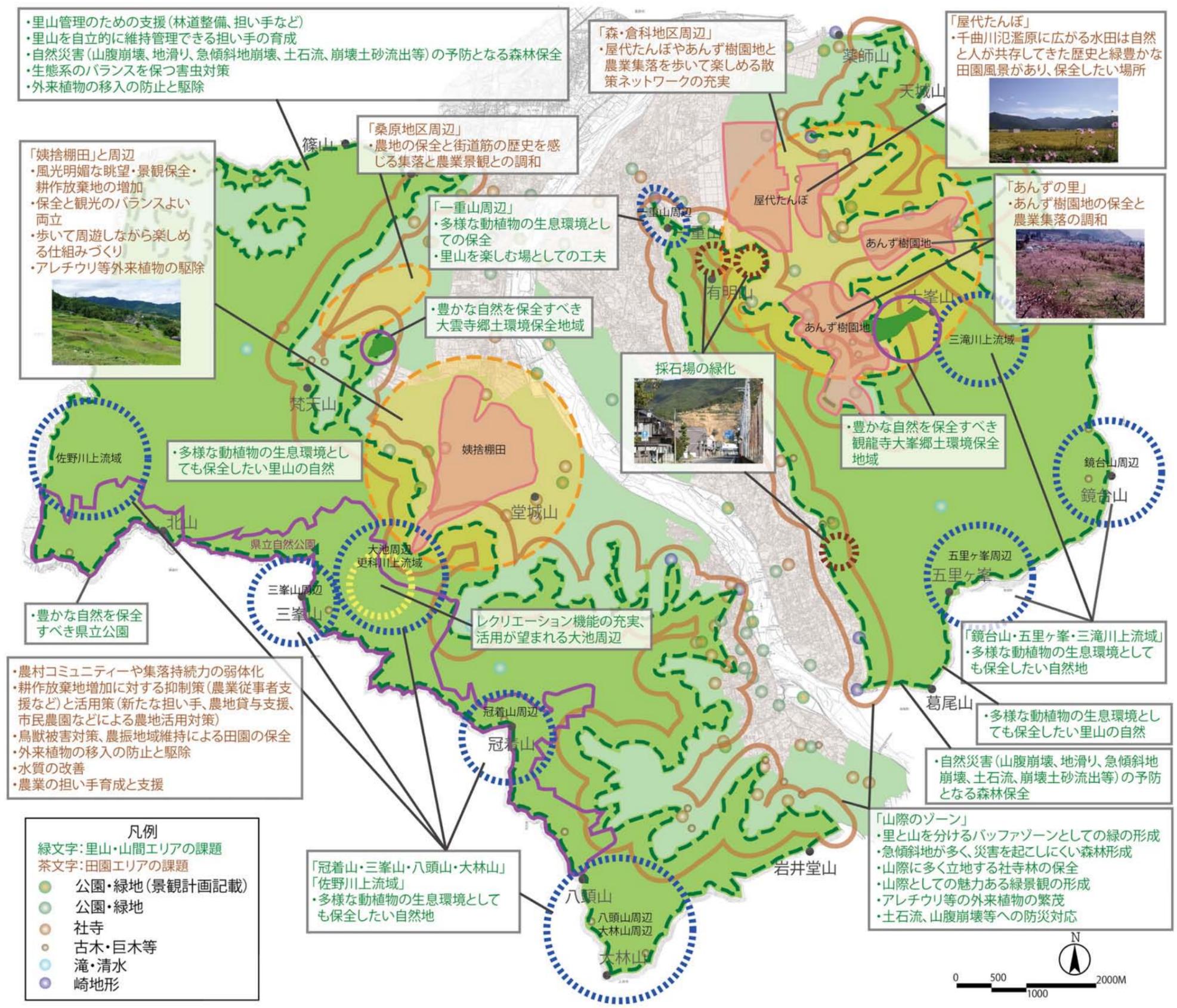
- ① 市民・事業者・行政が緑の将来像を共有する
- ② 緑による人と人のつながりの形成
- ③ 緑を楽しみ育てる人づくり
- ④ 市民・事業者・行政が一緒に関わる緑地づくり
- ⑤ 市民・事業者・行政が協働で緑を維持・管理できる仕組みづくり
- ⑥ 協働と参画による地域防災力の強化
- ⑦ 緑の環境学習や情報発信
- ⑧ 里山や農地を自ら担えるような仕組みづくり

緑の課題

ここでは、里山・山間エリアと田園エリアにおける課題を捉え提示します（アンケートにより抽出された課題も踏まえて提示しています）。

図に挙げられた課題は、緑の基本計画の将来像や方針に向かって関係する市の政策や計画との連携を図り、よりよい緑のまちづくりの課題解決を目指します。

『里山・山間エリア』『田園エリア』の課題図



『まちのエリア』『水辺のエリア』の課題図

ここでは、まちのエリアと水辺のエリアにおける課題を捉え提示します（アンケートにより抽出された課題も踏まえて提示しています）。

図に挙げられた課題は、緑の基本計画の将来像や方針に向かって関係する市の政策や計画との連携を図り、よりよい緑のまちづくりの課題解決を目指します。

